



たまがわ



気持ちは春に一足飛び

来春、村内の小学校に入学する子供たちの数は、今年より8人少ない116人。このほど、就学児を対象とする健康診断が、川辺小や玉川第一小でそれぞれ行われました。

ここ、須釜小でも11月21日、43人の子供たちがお母さんに付き添われ、内科や歯、視力、聴力などの健康診断を受けました。ふだん元気いっぱいの子供たちも、お医者さんの前ではちょっぴり緊張ぎみのようす。

ピッカピッカの一年生が誕生するのももう間近。虫歯など治療できるものは、しっかり直しておきましょうね。

'84
12
NO. 220

来春一月十五日に成人式 あなたの名前の確認を



式が終って（今年の成人式から）

成人に達した若者たちの晴れの門出を祝福する成人式が、来春一月十五日（成人の日）に就業改善センターで行われます。

成人式を迎えられるみなさんは、昭和三十九年四月二日から昭和四十年四月一日までに生まれた九十九名の方たちです。

村内に住んでいるのに名前がもれていたり、ふるさとでの成人式を希望されるかは、公民館に十二月二十二日までに申し込みください。

該当者は次のとおりです。
〔川辺〕 大竹のり子・大槻隆夫・

小針のり子・須藤厚子・須藤淳子
円谷善孝・根本隆子・矢部文子
矢部恵美・大竹多・鈴木俊子
佐藤勝男・野崎栄
〔藤生〕 有賀伸一・柳沼はるみ
柳沼邦枝・真弓保・真弓みさ子
真弓富士子・真弓久子
〔小高〕 加藤浩樹・有賀美絵
車田聖子・高原和義・添田正雄
溝井陳彦・溝井君恵・西島里美
吉田厚子・矢吹明美・関根勝則
車田健二・石井喜義・添田主命
柳沼恵子
〔中〕 岩瀬由美子・大木美枝子
小針周吉・鈴木浩勝・高林美佐江
細山美枝子
〔岩法寺〕 石森伸一・小松真弓
倉鎌康子・吉田正・吉田洋子
矢吹信子・本橋勝広・橋本明美
石森浩・高橋一郎
〔竜崎〕 小林吉弘・小林三喜夫

岡部淳子・小林征子・三吉隆一
鈴木久子・柳沼石雄
〔南須釜〕 大川内和子・石井千恵
石森ヨシ子・小原和彦・小原安司
大野千枝子・塩沢美和・我妻直子
片寄富士美・草野みづい・佐々木
正明・相楽智恵子・中沢千恵子
大越吉孝・塩沢和江・円谷みゆき
宗形光雄・小貫はるみ
〔北須釜〕 小針和江・小針和彦
小針和之・柳枝孝代・宗形郁子
宗形秀典・矢吹忠弘・草野洋子
鈴木康子・草野直幸・鈴木正
野口悦子・矢吹利恵
〔吉〕 大和田和子・佐藤栄策
森香
〔山小屋〕 石森栄男
〔山新田〕 真野目富久代
真野目和田江
〔四辻新田〕 塩田忠雄・須田潤一
関根美智代・塩田利代

教育長に

関根氏が再任される

教育長 関根 忠幸



就任のあいさつ
教育長に再び選任され十一月十九日就任いたしました。

教育のあり方について論議されるなど、教育に寄せる関心と期待が大きいとき、職責の重要さを痛感いたします。もとより非才、微力ですがこれまでの経験をもとに更に努力を重ね、人間性豊かな教育のため鋭意精進いたします。ごさいませ。みなさまのご鞭撻をお願い申し上げます。

教育委員に

仁井田仁一氏



この度、首藤芳次氏が任期満了にともなって退任することになりました。

なり、その後任に仁井田仁一氏（64歳・竜崎字糞屋）が十一月十九日付で教育委員に任命されました。首藤氏におかれましては、二期八年にわたって責務にあたられ、学校教育に大きく貢献されてきました。本当にご苦労さまでした。なお、教育委員長には車田権氏が選任されました。

飛ばしたい 飲みたい
心にブレイキを

年末年始の 交通事故防止運動

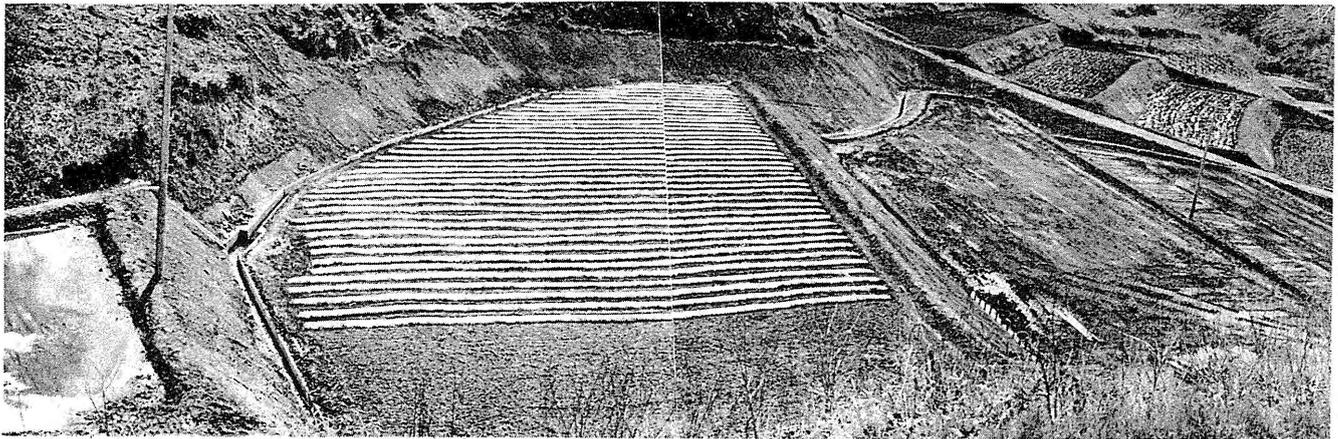
この運動は、年末年始における交通事故の防止と、飲酒の機会が多くなることから飲酒運転の絶滅を図るため、四つの項目が重点的に進められます。

- ◎みんなで飲酒運転の防止
- ・運転するなら酒を飲まない
- ・酒を飲んだら運転しない
- ・運転する人に酒をすすめない
- ・酒を飲んだ者に運転させない

- ◎しめようシートベルト
- かぶろうヘルメット
- ・車に乗ったらシートベルト、バイクに乗ったらヘルメットの習慣を
- ◎子供とお年寄りを交通事故から守ろう
- ・スピードはひかえめに
- ・飛び出しに注意
- ・歩行者は、道路を横断するとき、安全な場所を選び、必ず左右の安全を確かめる
- ・危険な所では遊ばない、遊ばせない

- ◎気をつけよう冬道の運転
- ・積雪、凍結時は減速走行
- ・急発進、急ハンドル、急ブレーキはしない
- ・車間距離は十分にとる
- ・カーブの手前では必ず減速
- これらのことはわかりきったことばかりですが、事故はなかなか減りません。家庭で、職場でみんなで実践を！

新しい村づくり 農業農村整備計画に着手 農用地の利用促進や土地利用の見直し



基盤整備事業で新しく生まれ変わる農地（北須釜地内）

玉川農業振興地域整備計画書（通称「農振」）については、昭和四十七年に策定し、五十四年にその見直しが行なわれていますが、近年の農業及び農村を取り巻く状況は、兼業化の進行、住民意識の多様化等によって、大きく変化しております。このような状況の下で農業及び農村の健全な発展を図っていくため、農業農村整備計画を策定することになりました。

この計画は、昭和五十九年、十年の二年間で策定するもので、計画内容は次のようなものが上げられます。

- 1、農用地利用計画
- 2、農業生産基盤の整備開発計画
- 3、農業経営の規模拡大及び農用地等の効率的かつ総合的な利用の促進計画
- 4、農業近代化施設の整備計画
- 5、農業従事者の安定的な就業の促進計画
- 6、生活環境施設の整備計画
- 7、森林の整備その他林業の振興との関連に関する計画
- 8、地域資源の利用及び管理、保全に関する計画
- 9、土地、水利用のスペアール防止に関する事項
- 10、土地利用構想

アンケート調査や 集落会議の実施

このため、村では、みなさんの地域が抱えている問題や、事業に対する要望等を集約するため、アンケート調査を実施いたします。また、みなさんの生の声を聞いたり、提言をいただくため、明年二月頃、集落会議を開催いたします。

そして、大字単位に集落を設定し、推進員を設置して、集落カードの作成や、意見の集約をしてみなさんの考えを反映させて行きたいと思っております。

計画は新しい 村づくりの基礎

この計画は、おおよそ十年後の農業及び農村を目指したものでありますから、村の振興計画や開発計画、福島空港、テクノポリス構想等と整合性をとりながら進めて行き、新しい村づくりを目指した農業振興のための総合基本計画となるわけです。

この事業は、産業課が担当しますので、みなさんの意見、提言などありましたら、お気軽にお寄せ下さい。

農林大臣から 感謝状

このほど、農林水産統計情報業務に協力された業績を高く評価され、北須釜の矢吹正七さん（66）と南須釜の大越吉男さん（43）、大越常義さん（52）ら三人に農林水産大臣から感謝状が贈られました。

受賞された三人は、それぞれ農林水産省から委嘱を受け、昭和四十四年から十五年余にわたって米生産費調査農家として記帳を続け、農林行政の基礎資料作成に協力されています。

須賀川信金が 20万円

青少年の健全育成 資金として寄付

このほど須賀川信用金庫（理事長・山辺俊二）では、創立七〇周年を記念し、青少年の健全育成資金として役立ててくださいますと村に二〇万円の寄付をされました。

これは七〇周年記念として、盛大な記念式典を催す予定だったものを式典を簡素化し、地域のみなさんへの還元と、未来を託す青少年の健全な育成をするための資金源として、寄付されたこととです。村では早速、この意図を汲んで青少年育成のために有効な活用をと考えています。

しめやかに戦没者追悼式 遺族ら二百余名が参列

村戦没者追悼式が、十一月七日村体育館において遺族、来賓など二百余名が参列して、しめやかに行われました。

式は参列者全員で戦没者に対し黙祷をささげた後、小針村長は「つつしんで戦没者に対し追悼の誠をささげると共に、こういつた

過ちを二度と繰り返さないといふ誓いを新たにし、御霊のご冥福を心からお祈りいたします」と式辞を述べました。

また、遺族を代表し、久保木ネさん（藤生）が追悼のことばとして、悲惨な戦争で夫を亡くし、苦難と闘いながらも今日の幸せは尊い犠牲によつて培われていることの重みと平和の大切さを切々と述べられました。会場は深い悲しみに包まれ、涙にむせぶ遺族の姿も見うけられました。

献花は遺族会長をはじめ各部族の遺族代表らが次々にとり行い、おごそかなうちに追悼式を閉じました。



盛大にとり行われた戦没者追悼式

引き続き行われた遺族会主催の慰霊祭では、遺族会長らが代表して玉串奉奠をし、参列した遺族全員で焼香をして戦没者の霊を慰めました。



戦没者に焼香する遺族のみなさん

火の守りに誓い新たに 消防団秋季検閲

村消防団の秋季検閲式が、十一月四日午前八時三〇分から村民グラウンドで団員二二〇名が参加して行われました。

検閲式は小原副団長の開会のことばで始まり、検閲官に小針村長を委嘱。検閲官から通常点検を受けたあと、団員らは分列行進や各個訓練、機械訓練にキビキビした態度で取り組んでいました。

また、仁井田団長から「火災が多くなるシーズンに入るため、予防消防に努められ、地域住民の生命財源を守るといふ最大の目的に全力を注いでほしい」と訓辞され、団員らは「火の守り」の誓い

を新たにしていきました。



通常点検を受ける団員

戸津さん 交通安全活動協力者として表彰



十月二十六日、会津若松市民会館で開催された「第二十三回福島県交通安全県民大会」の席上、戸津今朝吉さん（南須釜）が交通安全活動協力者として、

県交通対策協議会会長から表彰されました。

戸津さんは、昭和五十七年四月から玉川村交通安全協会の須釜分会長として就任以来、交通安全運動期間中の街頭指導をはじめ、交通安全活動に積極的に協力し、交通死亡事故ゼロ〇〇日達成と交通事故の減少に大きく貢献したことから今回の表彰となったものです。

須賀川広域消防（昭和60年度） 消防職員の募集

須賀川地方広域消防組合では、昭和60年度採用の消防職員を左記により募集しています。

職 務／ 消防業務全般

募集人員／ 若干名

受験資格／ ・昭和35年4月2日から昭和42年4月1日まで

に生まれた男子

・高卒以上の学歴を有する者、又は60年3月に卒業見込みの者

試験方法／ 第1次（教養・作文）

第2次（適性、面接、身体検査など）

受験手続／ 受験申込用紙は消防署、役場総務課にあります。

受付期間／ 昭和59年12月5日から昭和60年1月8日まで。

その他詳しいことは役場総務課（☎3101）または、須賀川地方広域消防本部総務課（☎0248☎3111内線34）にお問い合わせください。

文化祭

芸術の秋、本番 村民の目を楽しませた作品群



村民の目を楽しませた菊花盆栽展



親子連れも目だちました

村民総合文化祭が十月二十七日から十一月四日まで、就業改善センターと村体育館を会場にして盛大に開かれ、休みを利用して家族連れなどでにぎわいました。

会場には小・中学生による作品展をはじめ、保育所の子供も粘土細工などを展示し、訪れた人はかわいい作品についっこり。コーナーごとに設けられた写真展や書道展、菊花盆栽展など村民の目を多に楽しませ、作品を一つ一ついいねいに観賞する姿が見うけられました。

とくに老人作品展は、人気の的で、丹精込めた作品が所狭しと陳列され、即売のザルや籠、竹ボークなど手作り作品が飛びような売れゆきをみせていました。



見事な作品が並んだ老人作品展

**須釜民芸保存会が受賞
念仏踊りの保存継承に尽力**

去る十一月三日の文化の日、県文化センターで昭和五十九年度教育文化功労賞の授賞式が行われ、わが村の須釜民芸保存会（会長・縫韶真、会員十二名）が優良文化団体として県教育委員会から表彰されました。

須釜保存会は、村の郷土芸能である南須釜念仏踊りの保存継承にご尽力され、会員らの積極的な指導はもとより、地域社会の文化の振興に寄与していることが認められたものです。



受賞した須釜民芸保存会

昭和59年度

優良従業員表彰 宗形さんら二十六名が受賞

村商工会主催による昭和五十九年度優良従業員表彰式が、「勤労感謝の日」の十一月二十三日、午前九時から就業改善センターで行われました。

村内の各事業所から選ばれた二十六名が出席し、商工会長の式辞のあと、一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。これにちなみ受賞者を代表して宗形辰一さん（中根精工労働務）が受賞の喜びと今後の抱負を述べられました。

このあと、郡山商工会議所の専務理事、渡辺佐市氏から「職場と人間関係」と題する記念講演があり、受賞者らは熱心に耳を傾けていました。

受賞されました方々は次のとおりです。（順不同）

- | | |
|-------|------------|
| 宗形辰一 | （中根精工労働務） |
| 滝口義一 | （"） |
| 鈴木健一 | （駒木根工業労働務） |
| 藤田利行 | （"） |
| 大竹長次 | （"） |
| 野崎真知子 | （東京精工労働務） |
| 矢吹ハナヨ | （"） |
| 柳枝栄久夫 | （"） |
| 矢部真一 | （"） |
| 佐藤晃 | （"） |
| 猪越良雄 | （柳福島エンヤ） |
| 富塚ミキ | （"） |
| 大野ミチ子 | （南大進製作所） |
| 柳枝トシ子 | （塩田縫製） |

- | | |
|-------|-------------|
| 村越重雄 | （柳加藤化工） |
| 添田光男 | （福島双羽電機労働務） |
| 倉鎌ユキ子 | （"） |
| 渡辺ハナヨ | （"） |
| 新国正子 | （"） |
| 塩沢栄 | （柳湯沢組） |
| 岡部達男 | （柳鈴木建設） |
| 小原幸雄 | （吉村工務店） |
| 増子常政 | （円谷建設） |
| 吉田美喜男 | （小林建設） |
| 大越好 | （柳玉川畜産センター） |
| 須田正行 | （"） |



優良従業員として表彰されたみなさん

話題の広場

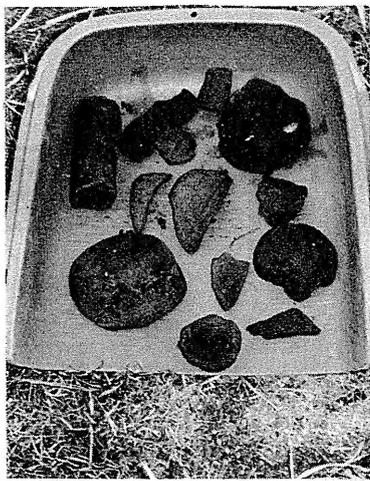


明るい話題や催しなどがあるときには企画課まで。
(電 三三〇二)

堂平地区などの遺跡発掘進む

埋瓶や遺構など出土

県文化センター遺跡調査課が九月下旬から始めた遺跡試掘調査は、これまでに川辺字堂平や森生字鬼淵など村内六ヶ所が試掘され、現在その八割が終了し、興味湧く出土品がいろいろ出ています。なかでも川辺字金波、堂平地区からは三千年から四千年前のいわゆる縄文時代中期から後期と思われる集落跡が見つかったほか、埋瓶(墓地または祭儀場跡ではないかと思われる)、配石、敷石住居の遺構も見つかっています。そのほかには土器片、石器(斧やじり、凹石、たたき石)なども



出土した土器片の数々



縄文時代のものと思われる敷石住居跡

親子一緒に下刈り作業 泉中でふれあいタイム

十一月十七日、泉中学校で親子一緒の学校林の下刈り作業を行い、親子のふれあい深めました。この事業は今まで生徒と父兄が別々にしていたものを、今年から合同で行った。父兄と生徒合わせて約三五〇人が参加。鎌のとき方やなたの使い方も知らない現代の子たち。この日はお父さんやお母さんから手ほどきを受け、約



親子一緒に下刈り作業

主婦ら「老人介護」について学ぶ

寝たきりのお年寄りや病人を抱えている人々を対象にした「老人介護の仕方」の講習会が、十一月二十二日、就業改善センターで開かれ、主婦ら二十五名が受講しました。午前中は「食事や清拭」についてのスライドを見、午後は「病人の動し方や排泄の世話、床づれの予防」などについて、講師の日赤福島支部嘱託の横山さんから実技指導を受けました。

参加した主婦の中には、実際に病人の世話をしている人もいて、真剣に取り組んでいました。

お仕事ご苦労さま

保育所で花束プレゼント

市内の幼稚園や保育所の子供たちは毎年、「勤労感謝の日」にちなんで、日ごろお世話になっている人たちに感謝の花束をプレゼントしています。今年も子供たちが花束を持って役場や郵便局、駐在所などを訪問。

ちっちゃな訪問者から「いつもお仕事ご苦労さまです」と花束を手渡され、ニコニコ顔。泉保育所の年長組の子供たちはこ



運転手さんに花束のプレゼント

の日、水郡線の運転手さんに感謝を込めて花束を贈りました。



モデルを使っての実技指導

年金だより

免除をうけた保険料

追納できます

国民年金には、保険料を納めることが著しく困難な強制加入の人のために、「保険料免除制度」があります。

免除を受けた期間は、将来老齢年金や通算老齢年金を受ける場合に、保険料を納めた期間と比べ三分の一となり低い年金額になってしまいます。

追納は、過去十年以内の免除期間を、その当時の保険料額で納めることができます。

追納しますと、年金額は当時保険料を納めていた場合と同じくなります。

以前の保険料額

49.	1~49.	12	900円
50.	1~51.	3	1,100
51.	4~52.	3	1,400
52.	4~53.	3	2,200
53.	4~54.	3	2,730
54.	4~55.	3	3,300
55.	4~56.	3	3,770
56.	4~57.	3	4,500
57.	4~58.	3	5,220
58.	4~59.	3	5,830

将来のことも考え、満額の年金を受けられるよう免除期間のある方に、追納をおすすめします。

追納を希望される方や追納について詳しく知りたい方は、役場住民課国民年金係に連絡してください。



税

だより

土地や建物を売った

ときの税金

土地や建物を売ったときの譲渡所得に対しては税金がかかります。

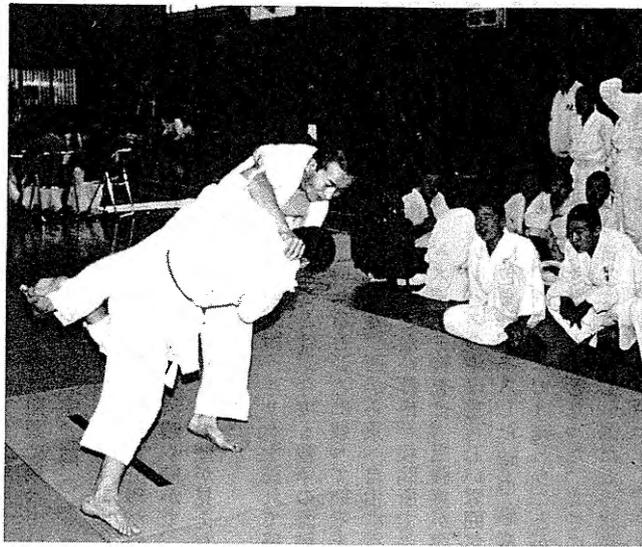
所得税は、一年間の所得を合計して税金を計算しますが、この譲渡所得の税金は、他の所得と分離して計算します。

また、自分が住んでいる建物又は、その建物とともにその敷地を売ったときには、一定の要件で課税の特例が受けられます。

詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室までどうぞ。

第13回 柔剣道大会

日ごろ鍛えた技競う



日ごろ鍛えた力と技を發揮

青少年の健全育成を目的とした第十三回柔剣道大会が十一月十一日、勤労者体育センターで開かれました。

会場には村内の小・中学生をはじめ高校生を含む一般の武道愛好家たち、約百三十名が詰めかけ、各部門に分かれ熱戦を展開しました。また会場では選手の間父兄などが応援にかけつけ、わが子の試合を熱心に観戦しているのが見られました。

日ごろの練習で鍛えた腕と技。チビッ子たちの堂々の試合運びは会場を大いに湧かせました。結果は次のとおりです。

剣道

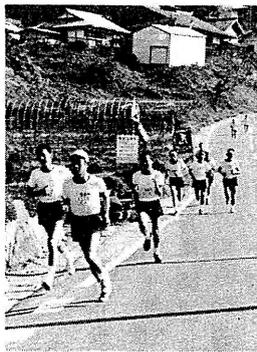
- ◆小学生の部
 - 低学年 優勝 矢吹ゆう
 - 高学年 優勝 吉田雅弘

柔道

- ◆中学生男子の部
 - 一学年 優勝 矢吹俊哉
 - 二学年 優勝 前田勝
 - 三学年 優勝 小貫直俊
- ◆中学生女子の部
 - 優勝 小林浩子
- ◆一般の部
 - 優勝 車田剛
- ◆中学生の部
 - 一学年 優勝 塩田敬
 - 二学年 優勝 小林正喜
 - 三学年 優勝 森俊雅
- ◆一般の部
 - 優勝 曲山吉信

須釜中

非行防止のマラソン大会 体力、気力に挑戦



力走する 須釜中の生徒たち

須釜中恒例となっている非行防止の校内マラソン大会が、十一月十七日行われ、全校生で健脚を競いあいました。男子は四キロメートル、女子は二・七キロメートルのコースを力走し、近内正文君(三年)と塩沢美和さん(三年)が優勝に輝きました。

優勝者にはトロフィー、上位入賞者にメダルや賞状が防犯協会から贈られました。



私のヨーロッパ見聞録 ① 若人の翼に参加して

溝井浩一 (小高)

この度私は、「若人の翼」Ⅲコースの団員として、東西ベルリン、イギリス、フランスを15日間の日程で研修し、得がたい体験を積むことができました。研修を通して学び、感じたことをエピソードを交えながら報告致します。

10月23日、私にとって自由主義国から共産主義国への第一歩を踏み出した。それが西ベルリン、あのベルリンの壁でした。壁の高さは2m位であるが、なぜか冷たく感じられた。最も近くて最も遠い国といわれるベルリン。西から見ると、すぐ手のとどくところに東ベルリンがある。東ベルリンの印象は、街を

作業している人は見うけられない。

私たちを乗せたバスは、緑の森に包まれ、静かなたたずまいのツェッペリンホーフ宮殿に着く。ここはボツダム会談をした所であり、宮殿の中は、今でも当時会議が行われたまま、円卓と椅子が置かれている。日本としても歴史的重要な場所として名高い。特に印象に残っているのがその会議室の隣の部屋で、ここで今から30数年前に広島、長崎に原爆投下を決めたのである。部屋は薄暗く静かで、窓の外にベルリンの壁が見えたのが鮮烈に残った。

この東西ベルリンを訪れて感じたことは、今でも戦争の傷跡がいたるところに残っているという事。西から東へ自由に行き来できない都市。検問所でのパスポート検査は、緊張感が漂い、バスの中は重苦しい雰囲気。バスの中は重苦しい雰囲気。バスの中は重苦しい雰囲気。

ベルリンの壁 (向う側は東ベルリン)

走る車は西より10年位古く人通りもまばらで街が閑散としている。

有名なアウトバーン(高速道路)は田園風景の中を走り、どこでも滑走路になるくらい広い。どこを見わたしても豊かな事を学んだ気がする。

(次号に続く)

お知らせ

今月の納税

固定資産税 (三期分)
国民年金 (四期分)
納期限は十二月二十五日(火)までです。忘れずに納めましょう。

12月の健康ごよみ

- 1日(土) 母親学級 就改センター 午前9時30分
- 1~2日 歯科巡回診療 四辻農業研修所 午前8時30分~午後二時
- 4日(火) 妊婦検診 (西部) 母子センター 午後1時30分
- 7日(金) 成人病予防教室 岩法寺公民館 午前9時30分
- 8日(土) 成人病予防教室 四辻農業研修所 午前9時分
- 8~9日 歯科巡回診療 四辻農業研修所 午前8時30分~14時
- 18日(火) 妊婦検診(東部) 母子センター 午後1時30分
- 24日(月) 献血 村内一円
- 27日(木) 乳幼児検診 母子センター 午後1時

その他三種混合予防接種がありますが日程が決まり次第、回覧でお知らせします。

公民館の予定

- 1日(土) バドミントン教室
- 5日(水) 着付教室
- 8日(土) バドミントン教室
- 10日(月) 婦人学級
- 12日(水) 着付教室
- 14日(金) 青年教室
- 15日(土) バドミントン教室
- 19日(水) 着付教室
- 22日(土) バドミントン教室
- 26日(水) 着付教室

寄付 ありがとうございます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。

- ・厚くお礼を申し上げます。
- ・小高の溝井賢彦さんより 老 万円
- ・小高の車田敬司さんより 参 万円
- ・わたぼうし会より 老 万円

◎これは、わたぼうし会(代表・石森四郎一さん、会員六名)の発足記念として、「こんにちハハーネス」を上映した時の益金を寄付されたものです。

(社会福祉協議会)

おめでた

(十月届出分)

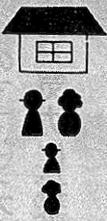
おくやみ

(十月届出分)

地区	出生児氏名	保護者名
川辺	須藤 泰	公 司
小高	遠藤 栄治	長 栄
"	添田 博之	義 恵
"	関根 麻衣	勝 男
中	増子 恵美	政 夫
"	舟山 知之	知 樹
岩法寺	大竹 広光	良 廣
南須釜	大野 由希江	一 郎
"	真野 目美和	真 衛
山小屋	石森 和幸	和 二
地区	死亡者氏名	年齢
小高	須藤 美喜雄	85 清 重
岩法寺	佐久間 今朝吉	56 義 重
南須釜	金子 マス	61 好 美
"	大野 利次	71 イ 美
吉	有賀 ノブ	78 正 寛

村のようす

(59年11月1日現在)



- 1,539戸 (+ 2)
- 7,490人 (+ 8)
- 3,687人 (+ 3)
- 3,803人 (+ 5)